

MPSフローラルマーケティング

東京都千代田区九段北3-3-9
法政大学新一口坂校舎6F
TEL.03-3238-2702
<http://www.mps-jfma.net>



松島義幸 社長

花の生産・流通を徹底して見直す

花の国際認証「MPS」

品質向上と環境負荷低減に貢献し

「花を愛する美しい国、ニッポンへ」

古代から人間が愛し、美の象徴としてきた花。

「日本の花の生産高はオランダについて世界第2位です。しかし、日本で花を購入する世帯は40%にとどまり、一人当たりの消費量は世界一のスイスの半分以下で14位です。現在、日本は豊かな国といわ

れながら生活に花が浸透していません。花き業界には花の商品価値を向上させ、花を買ってもらう工夫が必要です」
こう話すのはMPSフローラルマーケティング株式会社（資本金2090万円）の松島義幸社長だ。

日本の花き産業は生産者・市場・仲卸・加工場・花屋といずれも規模が小さく互いの情報の伝達・共有が難しいという。そのため顧客が望む商品や要望などの情報も分断され、生産活動に反映されづらい環境なのだ。

「お客様に新鮮で魅力ある商品をお届けする仕組みが重要です。MPSの導入もこうした流れの一環としてあります」（松島社長）

MPSとは、オランダ語で「花き産業総合認証プログラム」の頭文字を取ったもの。中心となるものは「MPS-ABC」と呼ばれる花の生産に使用される農薬、肥料、エネルギーなどの環境負荷を削減していくシステムだ。

「特徴は生産者から市場、卸加工場、小売店とつながったシステムであることです。また、環境負荷低減の『MPS-ABC』は、一定基準の遵守を求める絶対的な評価システムではなく、農薬、肥料、

エネルギーなどを不断に減少させていく相対評価システムである点です」



MPS Japan・MPS参加者マーク

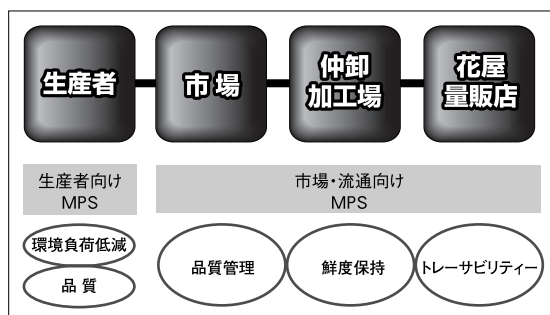
こう話す松島社長はキリンビール出身。台湾キリン、上海キリンの社長を経て、キリンビールのアグリバイオカンパニー社長に就任。

キリン退職後、花きの消費拡大を目指すJFMA専務理事、そして同協会が設立した同社の社長に就任した。

MPSジャパンマークが国際化と同時に日本産の差別化！

日本のMPS参加者は、MPSオリジナルの認証マークと共にMPSジャパンマークを使用できる。

「野菜や穀物でも産地表示が当り前の時代に、顧客が花屋の店頭で国内産か外国産かを見分けることは難しい状況にあります。MPSは環境に配慮された花であることを証明すると同時に、日本産であることを顧客に訴求できます」（松島社長）



MPS（花き産業総合認証プログラムの仕組み）

また、市場・仲卸・加工場などの流通業界がMPSに参加することで、商品がいつでもどこから来て、花がいつ切られたものか確認できるトレーサビリティが実現できる。こうした環境が整えば鮮度保証販売も可能になり、花にさらなる付加価値が生まれ、商品力を一気に上げることができる。

「私どもの使命は、MPSを通じて花の消費拡大につなげていくことです。MPSは環境のブランド化、お花の商品化の第一歩となるでしょう」（松島社長）

同社の取り組みが広がることで「花を愛する美しい国、ニッポン」を世界へ誇れる日が近づくだらう。（雄）